

12/10 第64回南日本ロード通信競技大会

(日) **選手の今後の力走に期待**

12月10日、阿久根市山下町で第64回南日本ロード通信競技大会と女子・中学生・小学生3ヶ所ロードレース大会が開催され、計108人が参加し、本町出身の選手が力走しました。大会の結果は次のとおりです。

一般男子の部 (10km)

1位 樋渡 速太 (長島町役場) 32分10秒

4位 田ノ上尚吾 (長島町役場) 32分32秒

中学男子の部 (3km)

5位 曲 翔太 (平尾中学校3年) 10分05秒

力走した選手ら



10位 内田 陽人 (平尾中学校1年) 10分29秒

中学生女子の部 (3km)

6位 宮路恵美奈 (鷹巣中学校2年) 12分18秒

小学生男子の部 (3km)

10位 脇田 新大 (蔵之元小学校6年) 13分05秒

12/11 年末年始の交通事故防止運動

(月) **三色餅で交通安全PR**

12月11日、交通事故防止を図るため、阿久根地区交通安全協会長島支部が街頭指導キャンペーンを「年末年始の交通事故防止運動」の一環で行いました。

この日は、同会員のほか、東町漁協の職員なども参加し、午後3時から赤崎橋パーキングパークで、信号の色にちなんだ三色餅を200個配布しました。

夕暮れ前の午後4時過ぎには、ドライバーへ声掛けをしながら、交通安全への機運を高めるため、同協会員と阿久根警察署管内の職員など約15人がだんだん市場前の

三色餅を手渡し交通安全の呼び掛け



歩道に立ち、早めのライト点灯やシートベルトの全席着用を呼び掛けました。

12/13 森林学習活動

(水) **森林について学ぼう**

12月13日、鷹巣中学校(瀬戸口浩司校長・103人)で長島の森林づくり推進協議会による「わたしたちの生活と森林」教室が開催され、1年生29人が参加しました。

これは「植えて、育てて、使う」という循環する森林の重要性と地域の中で林業が果たす役割について学ぶことで、子どもたちの森林への興味関心を促すことを目的としています。

参加した生徒らは、1限目は教室で、森林には地球温暖化防止機能や土砂災害の発生を防ぐ役割があることを学び

高機能性林業機械で作業を行う生徒ら



2限目から川床地区にある森に入り、実際に高機能性林業機械での作業を見学し操作しました。

谷村侑哉さんは「森林の役割を深く掘り下げて知ることができた。地球環境にも重要な関係があるのでしっかり覚えておきたい」と振り返り、森の大切さを学んだ様子でした。

12/14 果樹就農トレーナー研修

(木) **果樹就農の研修開催**

12月14日、県農業開発総合センターによる果樹青年農業者向けの就農トレーナー研修が日本マンダリンセンター4・5階「マンダリンBASE」で実施され、出水地域の果樹就農者約30人が参加しました。

これは、就農5年未満の果樹就農者の技術力向上と経営に対する理解促進を図ることを目的としています。

研修では、柑橘類の消費者の傾向や年末の需要、品種ごとの特徴などの講義後、試食会を行い、新種の「KC-5」や「紅まどんな」など4種類の日本各地の柑

ミカンの試食を行う参加者ら



橘類が並びました。

参加者は「消費者ニーズに合った経営戦略を考えていきたい」と振り返りました。